

早いもので期末試験まであと10日余りとなりました。試験はいやだなあ、と思う人が多いと思いますが、定期試験は1年に5回しかない、自分の学習力を発揮するチャンスなのです！勉強は計画的に！

みなさんは三者面談を終えて、自分の進路を真剣に考え始めたところだと思います。自分の夢のために今、何をしなければならないのか、しっかりと考えて行動していきましょう。

今回の進路通信では、進路のしおりにも書かれていた受験形態について確認します。

## 受験形態とは

大きく分けて、次の4種類があります。

1.指定校推薦 2.公募制推薦 3.AO入試 4.一般入試 です。

この4つのうち、学校からの推薦が必要なものは、

1. 推薦入試 と 2. 公募制推薦 の2つです。

(他にスポーツ推薦など特別なものもあります)

そして、草加高校では、学校からの推薦を受けるために必要な条件が下記のように定められています。

### 指定校推薦等の校内選考基準

欠席・遅刻のいずれも下記の数値以内、いずれの科目も評価2以上。

		欠席	遅刻
指定校推薦	大学・短大	20	30
公募制推薦	大学	20	—

※専門学校は相手校の基準を満たすこと

※短大・専門学校は相手校の基準を満たすこと

推薦入試に出願するためには、定期考査でよい成績を取り、評定平均を上げておくことが必要です。

全体の評定平均値	学習成績概評
5.0 ~ 4.3	A
4.2 ~ 3.5	B
3.4 ~ 2.7	C
2.6 ~ 1.9	D
1.8 以下	E

※ 学期ごとの成績は10段階評価ですが、学年の評価は3学期分をまとめて5段階とされます。そして、評定平均値は、5段階評価に基づきます。

指定校推薦の例： 獨協大経済学部 評定平均値 3.8 以上 +面接・小論文  
東京電機大学理工学部情報メディア 評定平均値 4.2 以上 +面接・小論文

**※ 校内で複数の希望者が出た場合、より評定平均値の高い生徒を推薦します！**

3年生になった時に一般入試と推薦入試、どちらにも対応できるよう、次の期末考査も、評定平均値アップのために懸命に勉強に取り組みましょう！

※AO入試については進路のしおり P.78~P.79 に詳しい説明があります。AO入試では各学校の求める像にマッチしていることが必要です。マッチするためには何をすべきかを考えて行動に移してください。

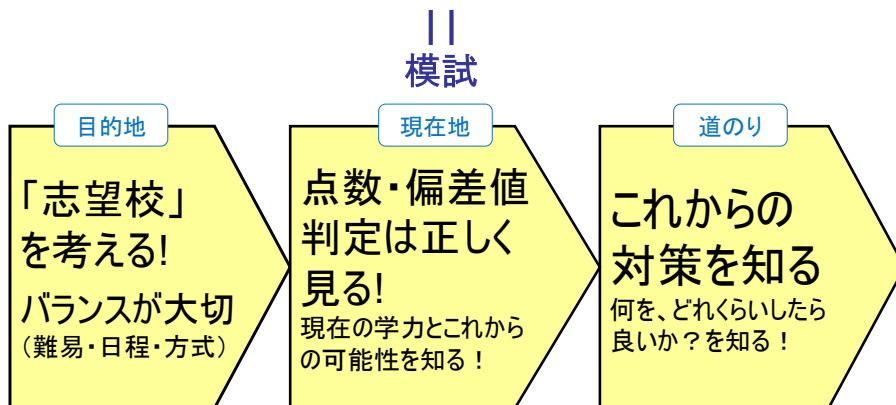
※7月13日(土)に2年生第1回の進研模試があります。昨年の進路通信で紹介した「模擬試験を受ける意義」を裏面に載せるので、もう一度読んでください。

## 模擬試験はこう受けよう!

模擬試験を受験する意義は、「現在の自分の位置を知り、合格までに何がどのくらい足りないのかを知り、今後どうすべきかを考えるため」の材料として活用することです。

### 模擬試験を受ける意味

目的に行くためには、自分の位置と目標までの道のり(方法・方向)を知る必要がある!  
自分の希望する未来に近づくための地図



### 正しい模試の使い方

模試は最良の教科書であり、入試のシミュレーションにもなる。判定や偏差値などを気にするのではなく、正しく活用して学力の伸長につなげよう。

### 模試で実戦力を身につけよう

模試 = 練習試合

本番を想定して模試に臨むべし!

スポーツで練習試合をしないで公式試合に臨むなんてことが考えられないように、模試を受けずに入試に臨んではならない。2年生では偏差値や判定を気にするのではなく、実戦経験を積むことが大切だ。

### 模試を受けるメリット

- ・ 全国を受験生の中での自分の位置がわかる
- ・ 勉強の進み具合が確認できる
- ・ 弱点が発見できる
- ・ 問題の傾向がわかる
- ・ 答案用紙の作り方を学ぶことができる
- ・ 問題を解く順番やペースなどがわかる
- ・ 試験慣れすることで実力が出せるようになる

※今年河合塾の模擬試験も紹介しています。河合模試にもぜひチャレンジしてください。